

THE MAGAZINE FOR COOPERATIVE PEOPLES

# 山武 こういき

vol.12  
2007.MARCH

編集・発行／平成19年3月4日  
山武郡市広域行政組合企画課 千葉県東金市東岩崎1-17 ☎0475-54-0253

特集… 新事業始まる(教育相談・障害認定審査)  
平成17年度決算の概要  
消防業務  
山武地域医療センター  
まちづくりアンケート調査結果



庁舎入口に立つ乙女の像  
作者：千葉大学  
上野弘道教授



# 山武郡市広域行政組合は、各市町の事務の一部を共同処理しています

山武郡市広域行政組合は、山武地区の6市町（東金市、山武市、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町）で構成され、各市町の事務の一部を共同処理しています。

## 圏域の現状

平成19年1月1日現在  
合計  
人口：224,746  
世帯数：81,357  
面積Km<sup>2</sup>：427.88

人口：59,807  
世帯数：21,115  
面積Km<sup>2</sup>：146.38

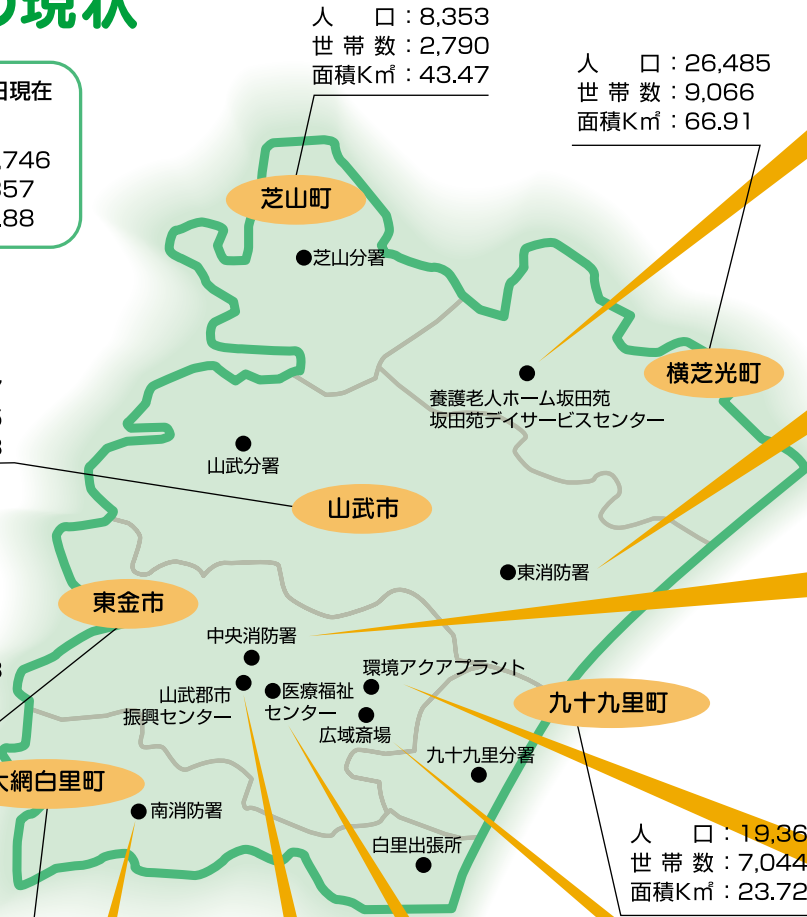
人口：60,411  
世帯数：22,918  
面積Km<sup>2</sup>：89.34

人口：50,327  
世帯数：18,424  
面積Km<sup>2</sup>：58.06

人口：8,353  
世帯数：2,790  
面積Km<sup>2</sup>：43.47

人口：26,485  
世帯数：9,066  
面積Km<sup>2</sup>：66.91

人口：19,363  
世帯数：7,044  
面積Km<sup>2</sup>：23.72



本圏域は、房総半島中央部東側に位置し、九十九里浜や緑豊かな自然環境に恵まれ近郊型レクリエーションの場として現在に至っており、今後、首都圏中央連絡自動車道の整備による発展や成田空港への近接性を生かした地域づくりに期待が寄せられています。

この圏域内に山武郡市振興センターを中心に、環境アクアプラント・広域斎場・医療福祉センター・養護老人ホーム及び消防本部と各署所があり、それぞれ業務を行っています。

## 新事業始まる

### 子供のことで悩んだら、 山武郡市教育相談センターへ

山武郡市教育相談センターは、平成18年4月に教育委員会の新規事業として開設し、山武郡市内に在学・在住している子供たちや保護者の教育上の様々な悩みについて、専門のカウンセラーが親身になって電話相談と面接相談を行っています。

また、何らかの理由で登校できない子供たちが学習する適応指導教室も山武市成東に開設しました。

これまでの電話相談と面接相談を合わせた延べ相談件数は817件(平成18年12月31日現在)です。全体のおよそ50%は「不登校」に関する相談です。小学5年生から相談件数が増えはじめ、中学2年生でピークになっています。この他の相談としては、「集団不応」「発達の遅れ」の相談件数が多くなっています。

適応指導教室では、各市町から中学生を中心に10名以上の子供たちが学習をしています。

お子さんのことでお悩みでしたら、当センターまでお電話をください。



- ・電話相談：月～土 9時～17時
- ・面接相談：月～金 9時～17時
- \*面接相談は事前の予約が必要です。
- ・適応指導教室：月～金 9時～15時

◆問合せ先 山武郡市広域行政組合教育委員会内  
山武郡市教育相談センター  
☎0475(54)0367

### 障害程度区分認定審査会

障害のある方々が、介護給付サービスを受けるための障害程度区分認定審査業務を行っています。

審査会は、保健・福祉に関する専門家の協力を得て組織され、平成18年6月から33名の委員を委嘱し、1合議体を5人で構成する5合議体により審査しています。



◆問合せ先 山武郡市広域行政組合  
医療福祉センター障害認定係  
☎0475(50)2533  
E-mail mwc@sanbukouiki-chiba.jp

## ご利用ください

### 山武郡市視聴覚教材センター

視聴覚教材センターは、山武郡市内の保育所、幼稚園、小・中学校や公民館・子供会を対象に視聴覚機材(プロジェクター・16ミリ映写機等)や教材(ビデオテープ・16ミリフィルム等)の貸出、状況によりお届けや、回収も行っています。また、16ミリ映写機操作講習会・パソコン講習会、各市町を会場にした映画会を開催しています。



◆問合せ先 山武郡市広域行政組合教育委員会内  
山武郡市視聴覚教材センター  
☎0475(54)0254  
E-mail avl@sanbukouiki-chiba.jp

### 山武郡市急病診療所のご案内

山武郡市急病診療所では、夜間の急病・けが及び休日の歯痛などの初期診療を行っています。

平成17年度の利用者は、夜間急病診療所については、5,037名、休日救急歯科診療所については、347名の利用がありました。

診療日時等は、次のとおりです。

#### 夜間急病診療所

・診療日	毎日
・診療時間	午後8時～午後11時
・診療科目	内科・小児科・外科
・持参するもの	保険証・老人医療受給者証 乳幼児医療費助成受給券



・連絡先  
TEL 0475-50-2511  
FAX 0475-50-2535

#### 休日救急歯科診療所

・診療日	日曜日・祝日・振替休日、 8月13日～15日、 12月29日～1月3日
・診療時間	午前9時30分～午後4時
・診療科目	歯科
・持参するもの	保険証・老人医療受給者証 乳幼児医療費助成受給券



・連絡先  
TEL 0475-50-2512  
FAX 0475-50-2532

休日在宅当番医テレホン案内 TEL 0475-50-2531

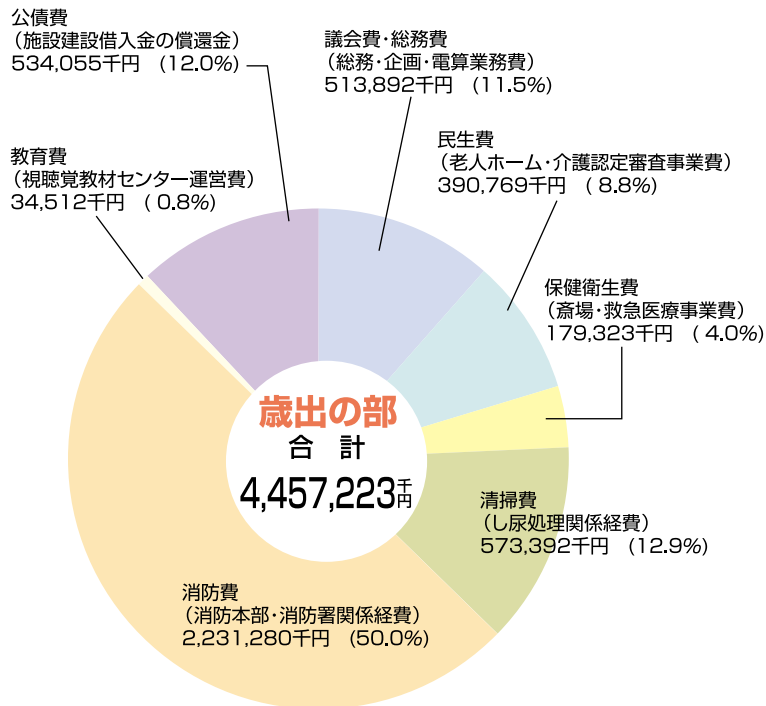
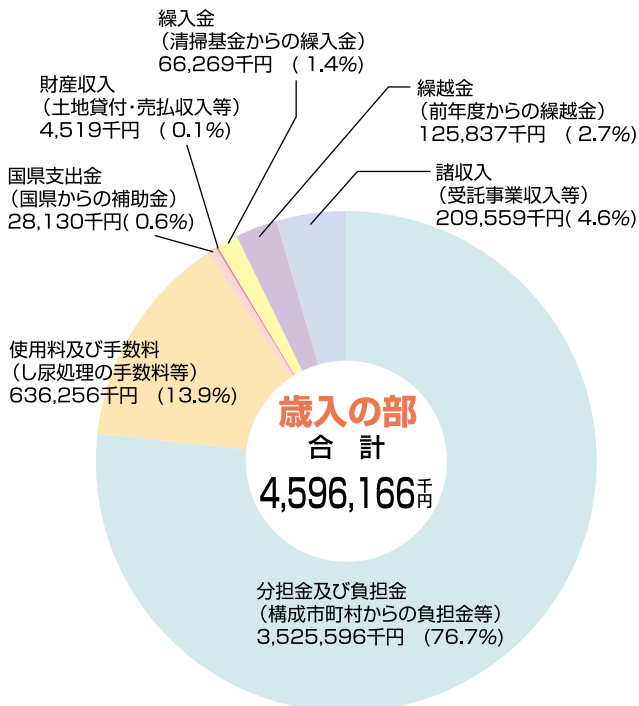
◆問合せ先 山武郡市広域行政組合  
医療福祉センター管理係  
☎0475(50)2533  
E-mail mwc@sanbukouiki-chiba.jp

## 平成17年度 決算の概要

平成17年度の組合一般会計決算は、歳入総額45億9,616万6千円、歳出総額44億5,722万3千円で、差引残額は1億3,894万3千円でした。前年度比較では、歳入2.8%、歳出3.1%の減となっています。

### ◆問合せ先

山武郡市広域行政組合 総務課財政係  
 ☎0475 (54) 0252  
 E-mail zaisei@sanbukouiki-chiba.jp



## 平成17年度

## 山武郡市広域行政組合職員の人事行政の運営等の状況について

地方公務員法第58条の2の規定に基づき、公表します。

### I 職員の任免及び職員数の状況

○採用・退職者数について

採用者数	退職者数
11	5

### II 職員の給与の状況

○職員の平均給与月額等について

職 種	平成17年4月1日現在			
	平均年齢	平均給与月額 (円)		
		給料	諸手当	
一般行政職	38.9	377,810	319,274	58,536
消防職	38.3	404,193	317,536	86,657
技能労務職	41.2	285,849	242,621	43,228

職 種	平成18年4月1日現在			
	平均年齢	平均給与月額 (円)		
		給料	諸手当	
一般行政職	39.4	414,535	319,389	95,146
消防職	38.9	398,095	317,230	80,865
技能労務職	42.2	288,019	247,225	40,794

### III 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

○勤務時間の状況について

開始時間	終了時間	休憩	休息
8:30	17:15	12:15~13:00	12:00~12:15 15:00~15:15

### IV 職員の分限及び懲戒処分等の状況

○職員の分限処分の状況について

降任	免職	休職	降給
0	0	0	0

○職員の懲戒処分の状況について

戒告	減給	停職	免職
0	0	0	0

# 情報公開制度の実施状況 [平成17年度]

## 1 公文書開示請求書の処理状況

請求件数	処 理 状 況 ( 件 )					
	開 示	部分開示	不開示	不存在	請求拒否	取下げ
16	11	1	2	11		

## 2 実施機関別請求件数

実 施 機 関	請求件数
管 理 者	16
総 務 課	4
企 画 課	1
電子計算課	
医療センター推進室	11
養護老人ホーム	
老人デイサービスセンター	
医療福祉センター	
広 域 斎 場	
環境アクアプラント	
消 防 長	1
教 育 委 員 会	
監 査 委 員 会	
合 計	17

## 3 不開示・部分開示理由内訳

不開示・部分開示理由	件数
第8条 第1号 法令秘情報	
第2号 国等協力関係情報	
第3号 個人に関する情報	
第4号 法人等に関する情報	2
第5号 公共の安全等に関する情報	
第6号 審議・検討等に関する情報	1
第7号 事務事業に関する情報	
第10条 公益上の理由による裁量的開示	
第11条 存否応答拒否	
合 計	3

◆問合せ先 山武郡市広域行政組合 総務課庶務係  
☎0475 (54) 0250  
E-mail shomu@sanbukouiki-chiba.jp

## V 職員のサービスの状況

○年次休暇の状況について

平均使用日数	消化率
14日0時間	70%

(平成17年)

○育児休業及び部分休業の状況について

	育児休業 取得者数	うち両休業 取得者数	部分休業 取得者数
男性職員	0	0	0
女性職員	2	0	1

## VI 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

職員の勤務能力の向上及び増進を目的として、千葉県自治研修センター、当組合等において研修を実施している。  
(主なものは次のとおり)

千葉県自治研修センター

研 修 名	日 数	参加者
課長研修	3	2
課長補佐研修	3	1
財務事務研修	4	1
契約事務研修	2	1
市町村民税研修	3	1
法制実務研修	4	4
行政課題研修	2	1

山武郡市広域行政組合

研 修 名	日 数	参加者
新規採用職員(前期)研修	3	4
新規採用職員(後期)研修	3	4
初級職員研修	4	2
中級職員研修	3	8
中堅職員研修	3	5
係長基礎研修	3	5
係長応用研修	3	8
接遇研修	2	8
プレゼンテーション研修	2	7

## VII 職員の福祉及び利益の保護の状況

職員の安全と健康を確保し、快適な職場環境を形成するために、産業医、衛生管理者、安全衛生推進者等を選任し、衛生委員会の運営を行っている。

また、職員の健康状態を把握し、健康障害や疾病の早期発見を行うため、定期健康診断等を実施している。

## VIII 公平委員会における業務の状況

1 勤務条件に関する措置の要求に係る事項	該当事項なし
2 不利益処分に関する不服申立てに係る事項	該当事項なし

# 消防業務

## 九十九里分署に高規格救急車を配備

—平成18年12月から運用開始—



消防本部では、平成18年12月に、5台目となる高規格救急車を中央消防署九十九里分署へ配備しました。この救急車には、心臓に電気ショックを与える除細動器や気道確保用器具といった高度救命資機材を備えており、医師の指示のもとで救急救命士による確かな救命処置を実施することができます。これにより、九十九里沿岸地域の住民や多発する水難事故に対しても迅速に対応でき、更なる救命率の向上を目指しています。

## 中央消防署に救急隊を増隊

—平成19年4月から運用開始—

平成18年中の救急出場件数は8,585件と年々増加傾向にあります。この中で、全救急出場の25%を占める中央消防署管轄では救急要請が重なることが多く、隣接する消防署の救急隊が出場し対応しているため、平成19年4月から、中央消防署救急隊を1隊増隊し2隊体制とします。これにより、救急車不足、現場到着の遅延が解消され、救急業務の正常化及び住民サービスの向上を図ります。

しかし、中央消防署は建設から40年が経過し、老朽化とともに、狭隘化が進んでいることから、地域防災の拠点として改築の検討が必要とされています。

## 携帯電話からの 119番通報について

消防本部では、平成17年11月から携帯電話からの119番通報についても直接受信できるようになりました。しかし、市町境界付近からの通報は隣接する消防本部につながってしまう場合がありますので、119番通報時は消防車（救急車）が向かう発生場所「市町名」をまず伝えてください。その場所がわからない場合は、場所のわかる人に代わるか、目標物となる建物等を伝えてください。



## 正しい救急車の利用について

救急車は、平成18年中で7,701人を搬送し、その半数以上が軽症傷病者となっております。救急出場の増加により、全救急隊が管轄外（千葉市、成田市、旭市等）へ出場し、管内に救急車がなくなるケースが発生しております。救急車は、急いで病院へ搬送しなければならない場合や、他の病院へ搬送する手段がない場合に活用するよう定められています。みなさんの、助け合いの精神で、正しい救急車の利用を心がけましょう。

## 全国消防本部対抗 駅伝大会の選考会を実施



平成19年3月10日に皇居外苑で開催される第18回全国消防本部対抗駅伝の出場に向け選考会を行い、当消防本部から出場する選手7名が決定しました。

この大会では、毎年120チームが参加する中、過去最高11位の成績を収めており、今年も入賞（10位以内）を目指し頑張ります。

# NBC災害訓練を実施

## — 中央消防署 —



平成16年9月17日の国民保護法施行に伴い、各市町で国民保護計画が策定される中、中央消防署特別救助隊ではNBC（Nuclear「核」、Biological「生物兵器」、Chemical「化学兵器」）災害が発生しても対応できるよう、訓練を実施しております。



### 千葉県消防広域応援隊合同訓練で ブロック方面指揮隊を務める

平成19年2月2日から3日にかけて、千葉県消防学校を会場に県下31消防本部合同による千葉県消防広域応援隊の訓練が行われ、山武郡市消防本部は第3ブロック（山武・長生・夷隅・安房・木更津・袖ヶ浦・君津・富津）方面指揮隊として訓練に参加しました。



## 消防署を見学する事ができます。



見学についてのお問合せは、最寄りの消防署まで。

（写真は、昨年9月に東消防署を見学する山武市内の幼稚園児）



# 山武地域医療センター

## ● 計画の始まり(平成15年度)

現在、山武地域には類似の機能を持つ公立病院が並立しています。

- ・町立国保大網病院(100床)
- ・組合立国保成東病院(350床)
- ・県立東金病院(191床)
- ・町立東陽病院(100床)

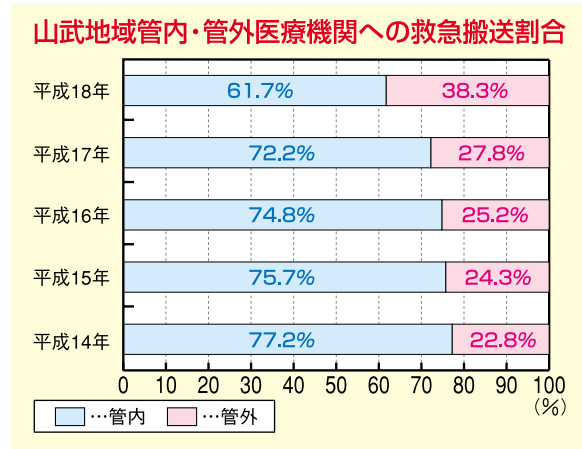
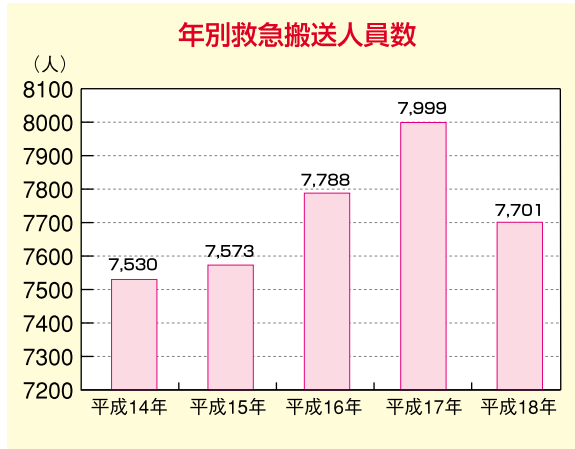
それぞれ、地域に根ざし、救急医療、小児医療や生活習慣病などの地域医療に取り組んでいますが、次のような課題があります。

- ・救急・小児医療等への対応が困難なこと
- ・地域内の医療体制が脆弱で地域外の医療機関での受診率が高いこと
- ・医療機器等の重複投資となり、医師や医療機器等の集約化が困難なこと
- ・公立病院を支える自治体財政も将来厳しくなることが予想されること

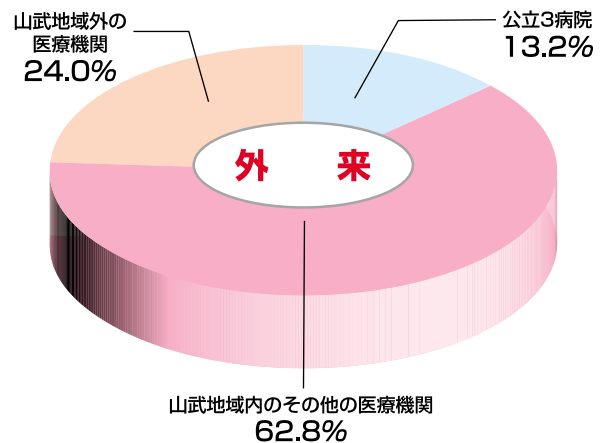
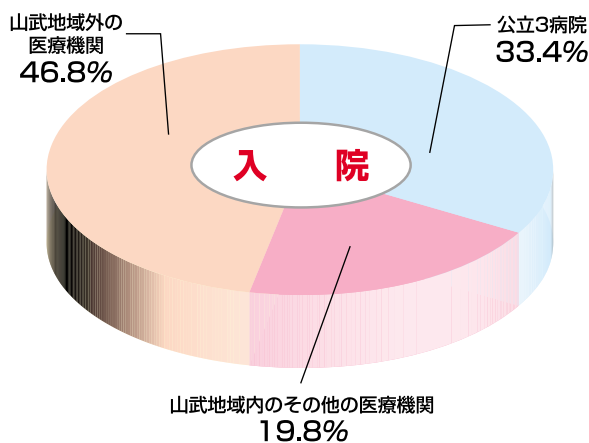
このようなことから、医療ニーズに応え、経営の効率化を図るには公立病院の再編が必要との共通認識が生まれ、県立東金病院の老朽化を契機に、平成15年度に山武地域の公立3病院(東金病院、成東病院、大網病院)の再編統合を目指す「構想策定委員会」が設置され、計画づくりに取り組んできました。(当時、東陽病院は、匝瑳郡に入っていたため除外された。)

## 山武郡市内の医療の状況

### (1)救急搬送の状況



### (2)公立3病院の受療割合(国保加入者の受療件数:平成17年5月分調べ)





## ● 計画の流れ

### 経 緯

- 平成15年度 構想策定  
平成16年度 基本方針作成  
平成17年度 基本計画（案）策定 ※東陽病院は計画を見直す際、枠組みに加えることを協議  
平成18年3月23日 県へ中央病院の開設許可申請（23診療科、450床）  
（平成18年4月5日 中央病院の開設許可）  
平成18年度 関係市町の協議

## ● 基本計画（案）の作成

山武地域の医療の現状と課題を踏まえ、地域包括ケアシステムを取り入れた基本計画（案）を山武地域医療センター基本計画策定委員会で作成した。

### ● 基本計画策定委員会構成メンバー

（平成17年度末現在）

委 員	地元選出県議（3人）	伊藤 丈、石橋 清孝、阿井 伸也
	市町村長（9人）	東金市長、大網白里町長、九十九里町長、成東町長、山武町長 蓮沼村長、松尾町長、横芝町長、芝山町長
	公立病院長（3人）	組合立国保成東病院長、県立東金病院長、町立国保大網病院長
	医療関係者（8人）	国保旭中央病院長、千葉大学大学院医学研究院教授、慶應義塾大学医学部客員教授 山武郡市医師会長、山武郡市歯科医師会長、山武郡市薬剤師会長 千葉県看護協会山武地区部会長、山武健康福祉センター長
アドバイザー	地元住民代表（保健福祉等の関係者4人）	

### ● 中央病院建設予定地の決定

中央病院の予定地選定に当たっては、あらかじめ選定のための審査基準を設けたうえで、4市町から提案された5か所の候補地について ①交通アクセス ②インフラの整備状況 ③用地取得の容易性 ④土地の価格などを総合的に評価した結果をもとに、市町村長の協議を行う中で、市町村としての考え方を集約し、平成17年8月3日に開催された基本計画策定委員会で東金市丘山台の工業団地内の用地を予定地とすることに決定された。

### 候補地一覧

	1	2	3	4	5
提案団体	東 金 市	大 網 白 里 町	大 網 白 里 町	成 東 町	山 武 町
候補地	丘 山 台	みどりが丘	富 田	姫 島	植 草 ・ 森

### ● 事業主体の決定

事業主体については、平成17年10月12日に開催された行政組合議会全員協議会で、地域医療は地域で担い、山武地域が一体で取り組んでいくことを全員が確認し、山武郡市広域行政組合が事業主体となることで合意され、平成17年10月28日に開催された基本計画策定委員会で決定した。

## ● 修正案の作成

医療制度改革を踏まえた計画にするため、基本計画（案）に対して、5人の有識者から意見・助言を踏まえ、平成18年7月に修正案を作成した。

## ●有識者名

有識者	横浜市病院事業管理者	岩 崎 榮
	東京大学名誉教授	開 原 成 允
	社団法人 病院管理研究協会 調査部長	川 島 英 樹
	千葉大学医学部教授	高 林 克 日 己
	国際医療福祉大学 学長	谷 修 一

(五十音順)

この修正案については、有識者から「基本計画(案)より現実的なものになった」との一定の評価をいただくとともに、次のような意見を受けています。

- ① 現大綱病院の機能については、中央病院に近接することから中央病院の急性期リハビリテーションと密接な連携のもと総合リハビリテーション体制の構築が望まれること。
- ② 現成東病院の機能については、山武地域の北部をカバーする病院として地域事情や財政負担も考慮しつつ再検討することが適当と思われること。
- ③ 事業実施に当たっては、サービス水準の向上及び財政負担の軽減のため、PFIや指定管理者制度、地方独立行政法人など民間の活力・ノウハウが生かせる柔軟な整備・運営の手法を取り入れることが必要と思われること。
- ④ 地域においては医師及び看護師等の医療従事者の確保が課題であり、医療従事者にとって魅力ある病院となる基本計画を策定する必要がある。

この基本計画を具体的に実践する責任者(医療センター管理者の予定者)を選定し、医師確保にもその能力を発揮できるよう措置する必要があること。

## 修正案のポイント

- ・中央病院の規模縮小(23診療科 → **17診療科**、病床450床 → **400床**)
- ・成東病院の機能変更(療養病床144床 → **一般病床100床**)
- ・建設費の見直し(建設単価 366千円/㎡ → **260千円/㎡**)
- ・運営費の見直し(中央病院の入院単価、外来単価など)

基本計画(案)

### 支援病院1(大綱病院)

診療科 9科  
病床数 100床

### 中央病院

診療科 23科  
病床数 450床  
(併設施設) 健診センター

### 支援病院2(成東病院)

診療科 16科  
病床数 144床(療養病床)  
(併設施設) 老人保健施設100床

基本計画(案)修正案

### 支援病院1(大綱病院)

診療科 **6科**  
病床数 100床

### 中央病院

診療科 **17科**  
病床数 **400床**  
(併設施設) 健診センター

### 支援病院2(成東病院)

診療科 **6科**  
病床数 **100床**

## ●主な関係市町長の協議

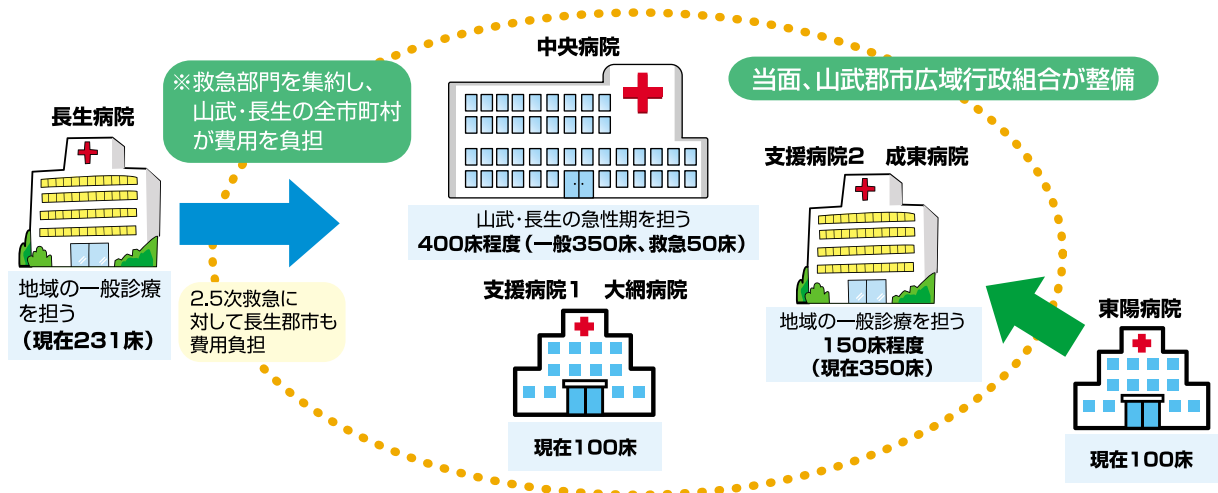
平成18年6月3日

- 市町長間で医療センターの進め方について協議、「中央病院の設置場所を見直すべき」との意見が出された。
- 「設置場所は、17年度に全首長の意見集約の結果を受けて委員会で決定済み」との意見が出された。
- 「場所の見直しができないのなら成東病院の充実が条件、構想を見直し慎重に取り組むべき」との意見が出された。
- 「救急医療などの課題があり、3年かけて計画を作ってきた。建設に向けて前向きに取り組むべき」との意見が出された。

以降、市町長間での意見交換を行ってきた結果、平成19年2月13日に中央病院400床、大綱病院100床、成東病院150床とすることで意見の一致がみられた。

# ●平成19年2月13日の合意内容(イメージ)

- 将来的に山武・長生の公立病院の一体的運営を目指し、当面、山武地域医療センターを推進
- 中長期的に「九十九里地域医療センター」を目指すステップとして、山武地域医療センター計画を基本に、長生郡市の参画を求めていく。
  - 東陽病院は、現在の計画策定後、横芝光町の医療ニーズ等を踏まえ、検討し、計画を見直し、枠組みに加える。



※今後、事業手法・運営形態や各病院の詳細検討を行ってまいります。さらに、東陽病院の位置づけとその機能等を検討していく予定です。

## ● Q & A

**Q1** 運営できるのか。市町の財政負担はどうか。

**A1**

事業手法により運営方法が変わり、市町の財政負担は変化します。また、県の財政支援の程度によっても市町の負担が変わってきます。  
今後、県に対して相当の財政支援を求めるとともに、民間活力の導入により地元負担の軽減を図ってまいります。

**Q2** 財政面で県の支援が見込めるのか。

**A2**

平成18年9月の定例県議会において、「地域の市町が、一枚岩でまとめれば、財政支援の具体的内容を示す」旨、知事も答弁しており、今後、地域が一体となって県に要請活動をしてまいります。

**Q3** 医師の確保はできるのか。

**A3**

医師のスキルアップできる環境をつくり、医師にとっても魅力ある病院とすることが重要です。併せて、千葉大学のみならず複数の医師の供給ルートを確認することなどを考えていきます。

**Q4** 成東病院がなくなるのか。

**A4**

成東病院は医療センターの支援病院として位置づけられており、住民のご意見をいただきながら、その機能・規模を検討してまいります。なお、成東病院は山武地域北部の医療の拠点として廃止されることはありません。

◆問合せ先 山武郡市広域行政組合 医療センター整備室 ☎0475 (50) 0661  
E-mail [mcp@sanbukouiki-chiba.jp](mailto:mcp@sanbukouiki-chiba.jp)

## 副葬品に関するお願い～広域斎場から～

ご遺族の皆様には、誠に恐縮とは存じますが、故人への思いの表現として棺に納める副葬品が、いろいろな弊害をもたらしています。

つきましては、棺の中には下記のような物は入れないようご理解とご協力をお願いします。

### 《焼骨に付着したり火葬時間が長くなるおそれがあるもの》

ガラス製品・貴金属類・書籍類・布団・毛布・食品類・硬貨  
義手、義足・ゴルフ用品・釣竿・陶磁器等の不燃性の物

### 《環境汚染及び火葬炉が損傷したりするおそれがあるもの》

ドライアイス・プラスチック製品・化学繊維類・ライター  
ビニール製品・スプレー缶・アルコール類

※ご遺体にペースメーカーを装着している場合は、必ず事前にご連絡ください。

◆問合せ先 山武郡市広域行政組合 広域斎場  
☎0475 (55) 6360  
E-mail saijou@sanbukouiki-chiba.jp

## 見学をどうぞ～環境アクアプラント～

環境アクアプラントは、皆さんの家庭から収集された、し尿や浄化槽汚泥を最新技術により高度処理している「し尿処理施設」です。

従来のし尿処理施設のイメージを一新した外観など、周辺的环境にも配慮しています。

また、アクアプラントでは、施設の見学を受け入れています。詳しくは、環境アクアプラント管理係までお問い合わせください。

### ～アクアパーク～

し尿処理施設に隣接して、運動公園「アクアパーク」があり、この公園は旧し尿処理施設の跡地や緑地を整備し、親水公園と多目的グラウンドで構成されています。

親水公園は、施設で処理されてきれいになった放流水を池や水路に利用しており、遊歩道には、四季折々の草花を咲かせて、散歩を楽しむ人たちの目を楽しませています。

また、多目的グラウンドは、年間を通じて幅広い年齢層の方々が利用しています。



◆問合せ先 山武郡市広域行政組合  
環境アクアプラント管理係  
☎0475 (54) 0511  
E-mail aqua@sanbukouiki-chiba.jp

## 今日も元気いっぱい～坂田苑から～

養護老人ホーム坂田苑では、入所者が生きがいを持って暮らせるようクラブ活動や日帰り旅行、夏祭りなど多彩な行事のほか、子供たちをはじめ地域の方々との交流会も実施しています。地元とのつながりを密接にし、地域に根ざした施設作り、その温かい雰囲気の中で入所者が第2、第3の人生を笑顔で送れるように職員一同日々努力しています。



◆問合せ先 山武郡市広域行政組合  
養護老人ホーム坂田苑  
☎0479 (82) 0320  
E-mail yougo.sakataen@sanbukouiki-chiba.jp

## 坂田苑デイ・サービスセンターでは

高齢者の方々が住み慣れた町で安心して生活を送れるよう、入浴や食事サービスをはじめ「遊び」をリハビリに取り入れた「遊ビリテーション」などを提供し、心身機能の維持向上を図っています。

また、通所介護（デイサービス）に加え、居宅介護支援事業（ケアプラン作成や介護相談など）を行っています。

現在2名の介護支援専門員が、要介護の認定を受けた高齢者又はその家族の希望を踏まえながら、公正中立の立場で適切なケアプランを作成し、各サービス事業者との連絡調整をしています。



◆問合せ先 山武郡市広域行政組合  
坂田苑デイ・サービスセンター  
☎0479 (80) 1718  
E-mail dei.sakataen@sanbukouiki-chiba.jp

# 山武郡市まちづくりアンケートの調査結果【概要】

山武郡市広域行政組合では、平成13年度に「山武郡市広域行政圏計画（前期計画）」を策定し地域の振興に努めてきました。この度、合併によって再編された2市4町の枠組みによって新たに後期計画を策定することになりました。

そこで、住民の皆様が平素、お考えになっていることをお伺いし、計画に反映させていただきたくアンケート調査を平成18年11月に実施しました。集計作業が終了しましたので概要をご報告致します。

なお、平成11年に実施したアンケート調査の結果と適宜比較し、住民意向の変遷を確認します。

## 調査の対象

山武郡市に居住する18歳以上の男女

## 標本抽出

各市町の人口比・年代比で2,274人  
(無作為抽出)

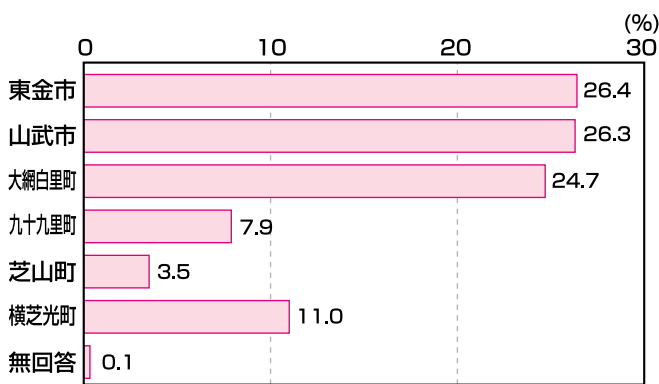
## 調査時期

平成18年11月

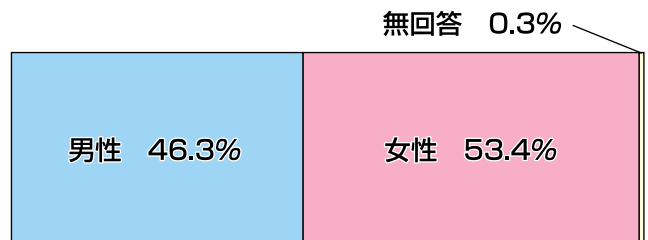
## 回収数(回収率)

708票 (31%)

## 問1 住んでいる市町

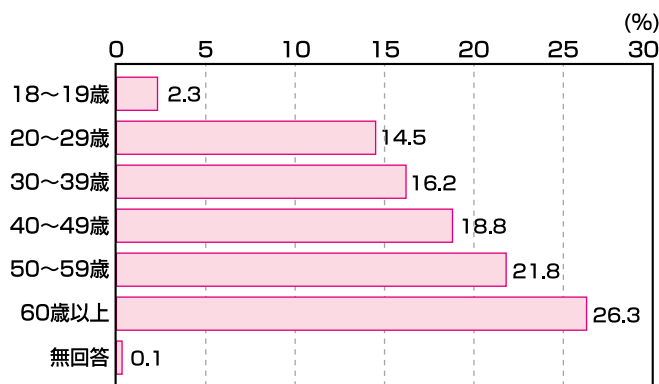


## 問2 性別



## 問3 年齢

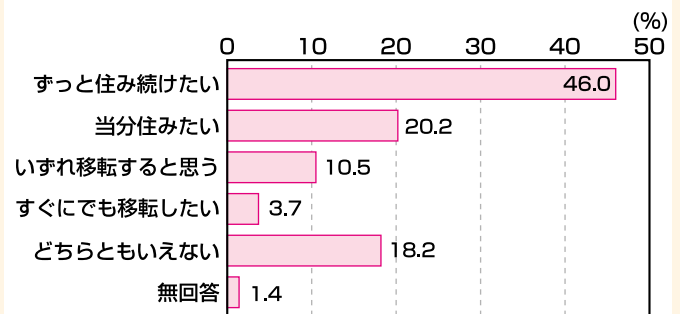
回答者の年齢構成は60歳以上が最も多くなっており、年齢が下がるに従い回収率が低くなっています。



## 問7 居住の意向

現在住んでいる市町に今後も住み続けたいかを聞いたところ、「ずっと住み続けたい」46.0%、「当分住みたい」20.2%と、合わせて66.2%の人が郷土に愛着をもっていることが分かります。

一方、「すぐにも移転したい」と回答した人を年齢別にみると、20~49歳の階層に6~8人います。



## 問11 今後の広域行政のあり方

広域行政のあり方については、「市町単独では困難な事業や、市町の連絡調整など一部の業務に限って共同事業を行う」と回答した人が38.1%と最も多く、平成11年調査の25.0%より13ポイント増えています。広域行政組合事業の役割に対する理解の深まりがうかがえます。

6市町共同で広域行政機構を設置

共同事務の内容を現在より大幅増加

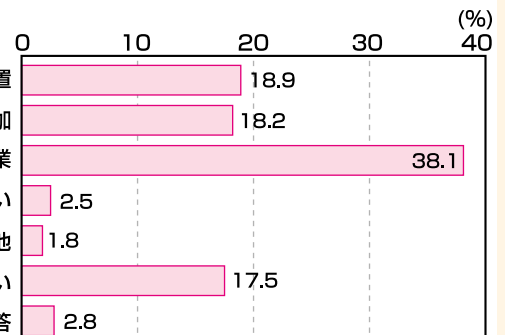
一部の業務に限って共同事業

広域的に連携する必要はない

その他

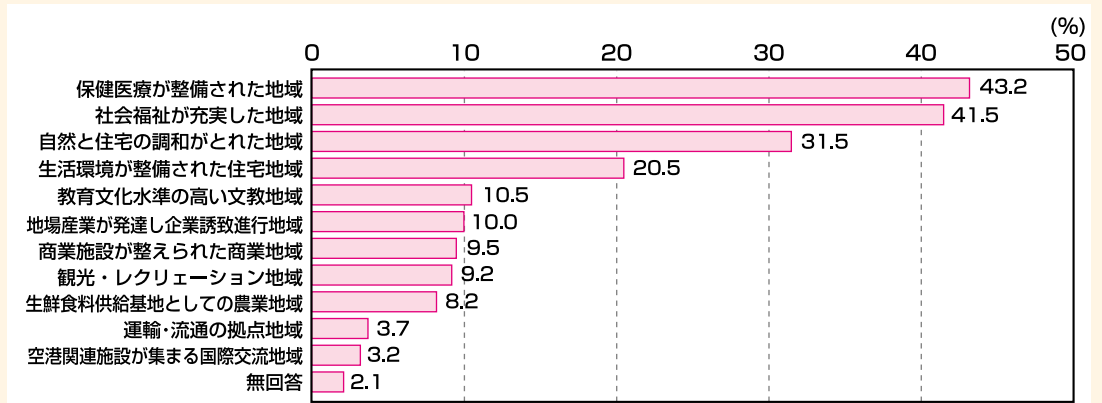
わからない

無回答



## 問15 あなたのお住まいになる市町を含む山武郡市は、今後どのような地域として発展していくのが望ましいか

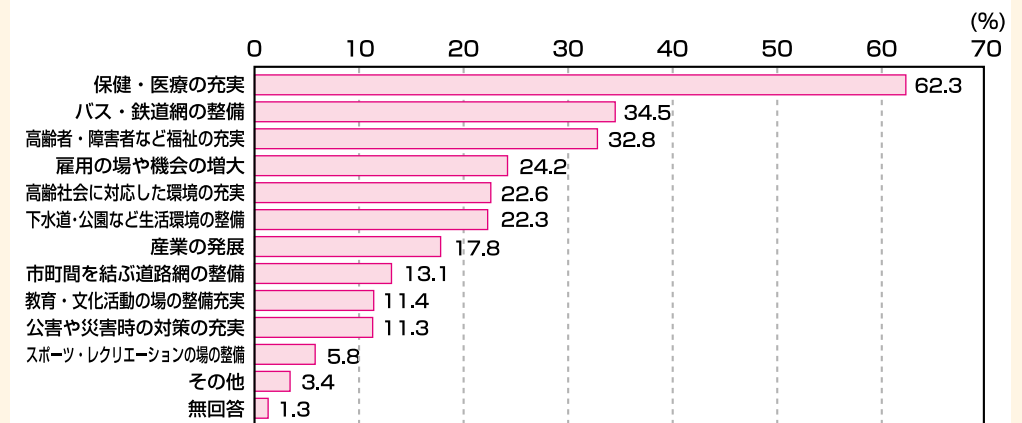
「保健医療が整備された地域」が43.2%、ついで「社会福祉が充実した地域」が41.5%と、医療・福祉環境を重視した地域として発展することが望まれています。



## 問16 あなたの住んでいるところをさらに住みよくするためには、どのようなところに力を入れていけばよいか

「保健・医療の充実」が62.3%と最も多く、ついで、「バス・鉄道網の整備 (34.5%)」「高齢者・障害者など福祉の充実 (32.8%)」と続きます。

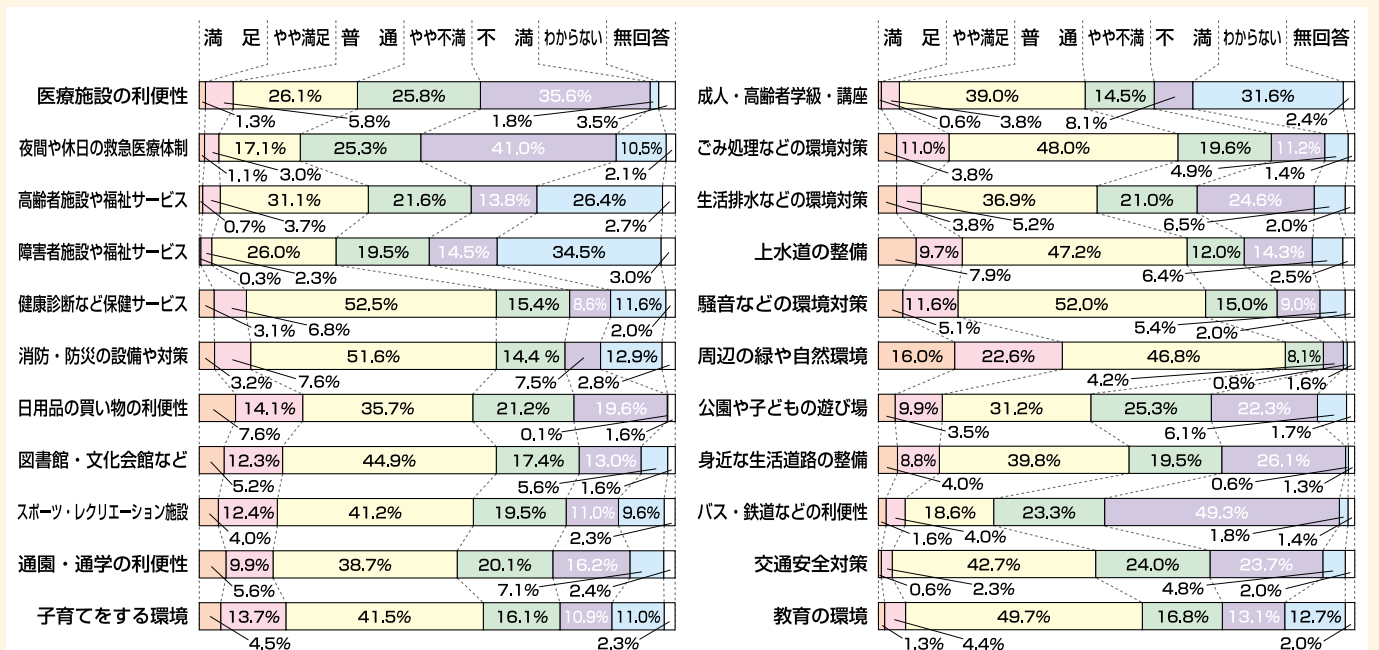
平成11年調査では「バス・鉄道網の整備 (47%)」が最も多く、つぎが「下水道・公園などの生活環境の整備 (35%)」でした。



## 問17 現在住んでいる市町の生活環境に満足しているか

おおむね「満足」「やや満足」「普通」が多い傾向にありますが、「医療施設の利便性」「夜間や休日の救急医療体制」に「やや不満」「不満」と回答する人が多くなっています。また、「バス・鉄道など」にも満足していない状況にあります。

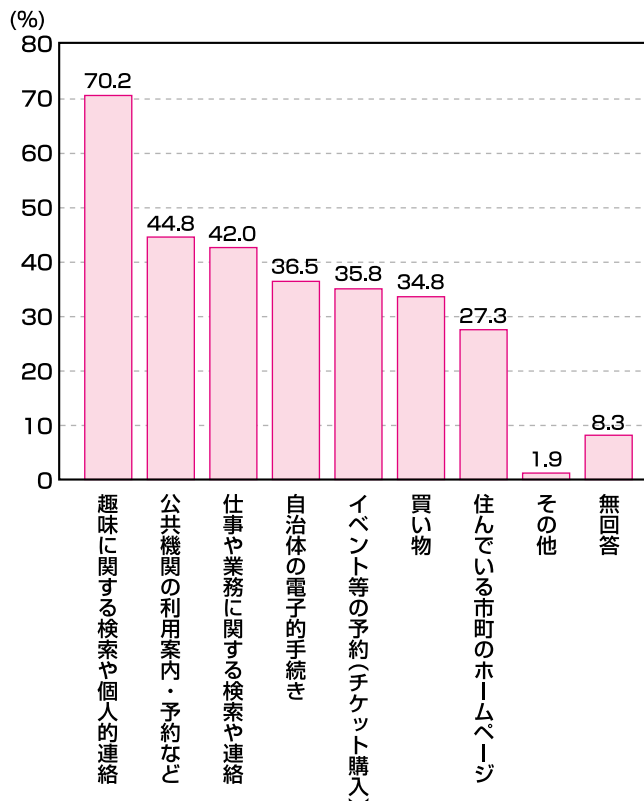
平成11年調査で「やや不満」「不満」が47%あった「スポーツ・レクリエーション施設」は、今回30.5%にまで改善されています。



## 問23 今後、インターネットや電子メールを利用して、どのようなことをしたいですか

インターネットや電子メールの利用状況を聞いたところ、43.6%の人が「携帯電話で利用」し、「自宅のパソコンで利用」している人も41.0%に及んでいます。一方、「利用していないが今後利用したい」人が19.6%と、平成11年調査の35%より大幅に減少しています。情報ツールの急速な普及が確認できます。

今後の利用内容については、「趣味に関する情報検索、及び家族・友人との連絡」が最も多く70.2%、「公共機関の利用案内、及び予約・申し込み」も44.8%でニーズの高さがうかがえます。



## 自由意見

合併について「賛成・推進」と「反対」を合わせて50件の記載がありました。

賛否については両論ありますが、圏域の皆さんが大変関心をもっていることが分かりました。

また、身近な問題ではゴミの問題について20件の記載がありました。内容は、ゴミ袋の統一、値段、集積場所や収集方法など多岐にわたっていますが、日々の生活に関わることであるため、意見が多くなっています。

それ以外には、総合病院の整備、救急医療体制の充実などを挙げる意見が40件ありました。

これらの意見を真摯に受け止め、広域行政組合では、各市町と連携して適切な対応に努めていきます。

以上、アンケート調査結果の概要をご報告しました。

平成11年の調査と比較して、おおむね同様の傾向にありますが、医療や福祉に関する意識の高揚やインターネットの急速な普及など、今後の施策展開に関して注目される結果がでてきました。アンケートにご協力いただいた方には改めて御礼申し上げます。

なお、アンケートに関するご質問・お問合せは企画課までお願いします。

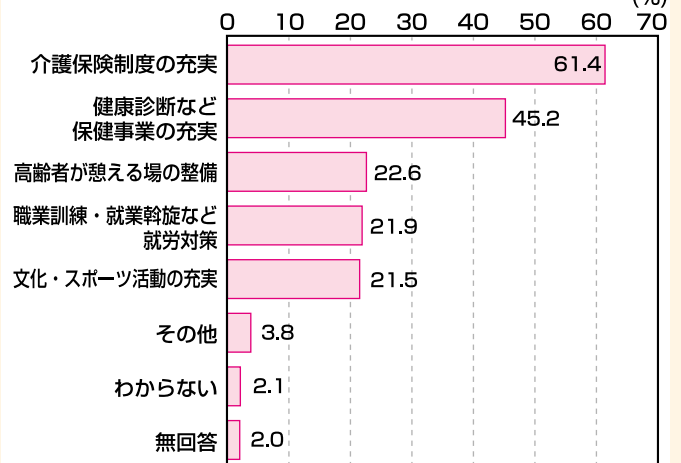
◆問合せ先 山武郡市広域行政組合 企画課 ☎0475(54)0253  
E-mail kikaku@sanbukouiki-chiba.jp

## 問24 高齢者福祉施策・障害者福祉施策 問25 として特に重要なものは

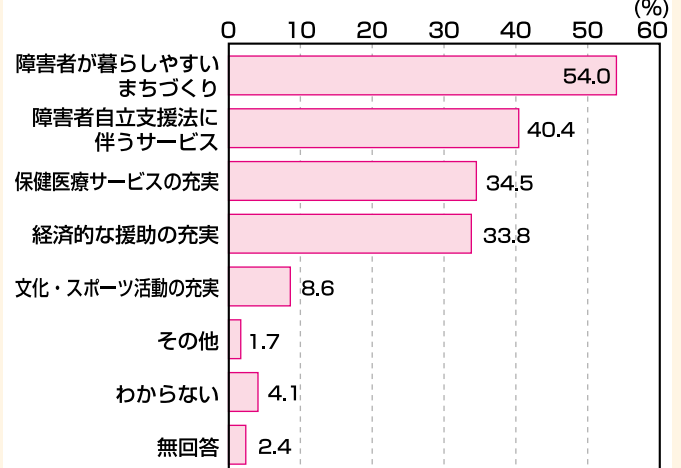
重要な施策として「介護保険制度の充実」を挙げる人が61.4%と最も多くなっています。

また、障害者福祉施策では「障害者が暮らしやすいまちづくり」が54.0%、「障害者自立支援法に伴うサービス」が40.4%と、福祉施策の新体系に関心が高くなっています。

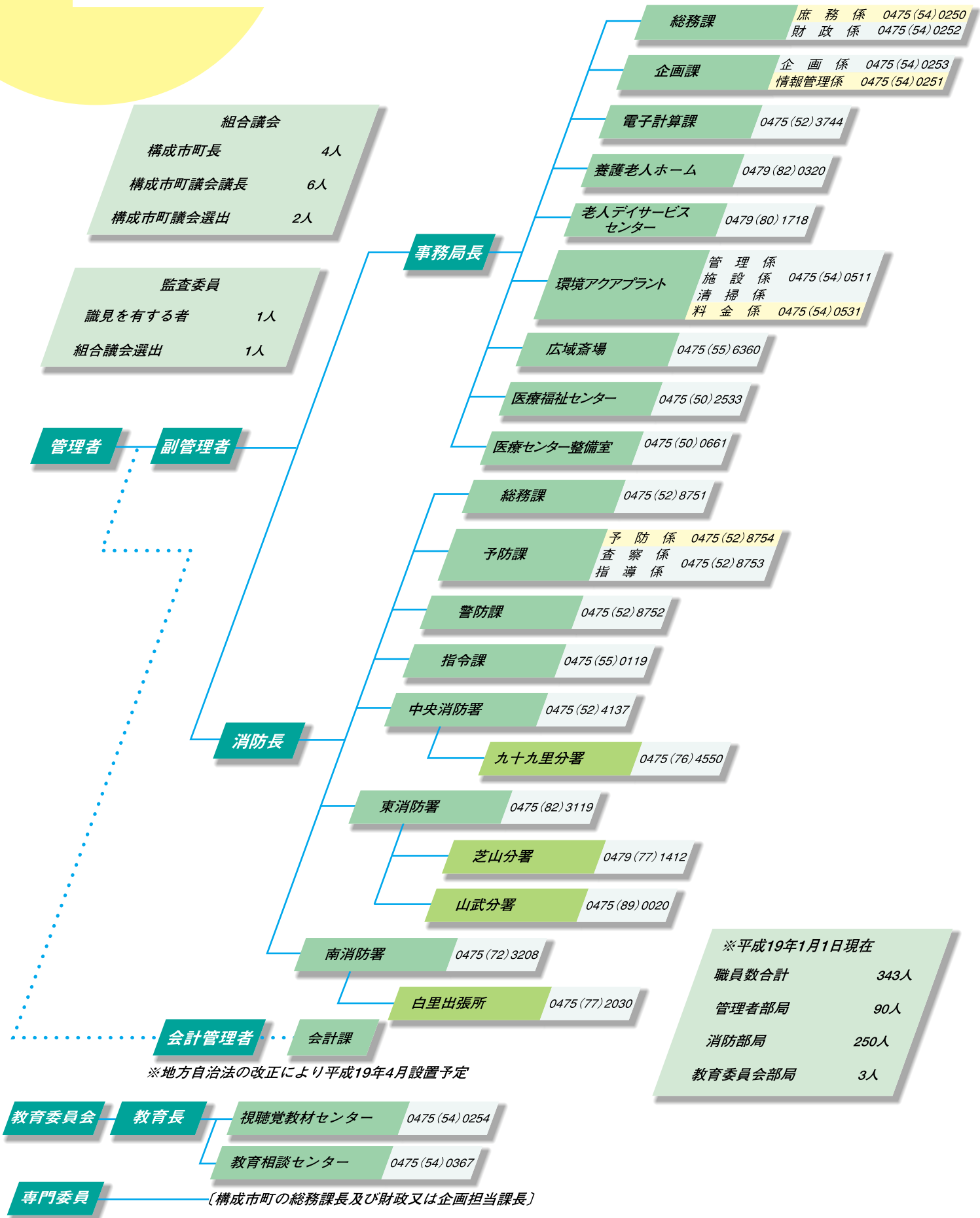
### 問24 重要だと思う高齢者福祉施策



### 問25 重要だと思う障害者福祉施策



# 組合組織図



## ホームページを開設しています

当組合の業務内容や施設紹介を掲載したホームページを開設しています。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.sanbukouiki-chiba.jp>

メールアドレス [kikaku@sanbukouiki-chiba.jp](mailto:kikaku@sanbukouiki-chiba.jp)